



清流news

〒191-8686 東京都日野市神明1-12-1

Tel 042-514-8309

発行日 1月・7月

Vol. 131

発行
日野市
環境共生部
緑と清流課

環境月間の報告

前号の清流ニュースで報告したとおり、今年度の環境月間は規模も期間も拡大しました。環境共生部として初めての環境月間は「未来に伝え、引き継ぐ 水と緑」をテーマに、広く環境に関する催しを行ってまいりました。11/6に開催された「環境フェア」については詳細を6ページに載せていますので、ご覧ください。

緑と清流課においては、例年に引き続き①緑と清流ポスターの展示②ミニ水族館③日野用水クリーンデーを実施いたしました。今年度の活動をそれぞれご紹介します。

①緑と清流ポスターの展示

市内の小・中学校の生徒が「緑と清流」をテーマに描いたポスターを市役所本庁1階に展示しました。

日程：(小学生の部) 10月3日～10月14日

(中学生の部) 10月15日～10月28日

※優秀作品は2、3面で紹介します。

②ミニ水族館

環境月間中、市内の用水路に生息する水生生物を本庁1階に展示しました。

日程：10月3日～28日

③日野用水クリーンデー

市民の方の参加を募り日野駅からよそう森公園にかけて、日野用水の清掃活動をおこなう催しです。今年度は、約30名の市民に参加していただけました。ご協力ありがとうございました。

日程：10月23日

中学生の部 最優秀賞



大坂上中学校2年 山内 咲嬉

小学生の部 最優秀賞



日野第四小学校4年 藤田 湊



日野用水クリーンデーの様子

その他の催し

- ・釣り教室（環境保全課） 7月31日、8月28日、9月11日
- ・夏休みごみ探検隊（施設課） 8月2日、3日、4日
- ・かわあそび（環境保全課） 8月13日
- ・環境フェア 11月6日 ※6ページで紹介しています！
- ・ごみ減量ポスター展（ごみゼロ推進課） 11月18日～12月2日

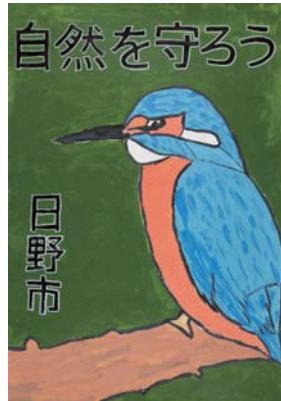
スター

日野市環境月間の行事として、市内の小・中学校の子どもたちへ緑と清流に関するポスターを募集しました。令和4年度も多くの応募があり、その中から選ばれた作品です。身のまわりの水辺や緑へ対する子どもたちの思いが描かれています。

小学生の部 優秀作品



平山小学校6年 亀山 明寛



日野第六小学校3年 智内 颯太



日野第四小学校6年 瀬沼 里彩



日野第四小学校6年 岡山 杏奈



東光寺小学校6年 中島 朱理



南平小学校5年 夏目 輪那



日野第七小学校2年 向後 優希



日野第八小学校5年 佐藤くるみ



東光寺小学校6年 窪 彬良



滝合小学校6年 山口 航輝



日野第八小学校6年 中井 里沙



仲田小学校5年 佐々木愛梨



仲田小学校5年 石田 仁菜



仲田小学校5年 畔上 菜

令和4年度

緑と清流水



三沢中学校2年 長谷川凜香



七生中学校3年 小川みずづ



日野第二中学校2年



日野第二中学校2年 上野 真優



平山中学校3年 根津悠莉奈



平山中学校2年 一之瀬結衣



平山中学校2年 仲野 佳奈



大坂上中学校2年 三田 彩加



日野第三中学校2年 中村 南美



日野第三中学校3年 古川 慶豪



日野第一中学校2年 竹内 樹



三沢中学校2年 市山あかり



三沢中学校2年 佐々木葉菜



日野第三中学校2年 山本 劉音

中学生の部
優秀作品

写真コンクール ～しぜん・ひと・まち～

流れる浅川を、源流から多摩川の合流点までひとつの流域
くりに目指すため、浅川流域連携事業のひとつとして行っ

今年は354作品の応募があり、それぞれに撮影者の浅川

南平体育館にて、表彰式が開催され、入選者の方々に賞状

賞企業として参列していただきました、コニカミノルタ株
が行われました。

●作品応募期間 令和4年7月1日～9月2日

●応募作品数 一般の部 318作品
中学生以下の部 36作品
計 354作品

中学生以下の部

『朝のおさんぽ』
重松 麻陽



『浅川と生きる』
長友 莉里



『2色の空』
佐々木 結衣



『水面に光る緑』
柳澤 諒



『春の輝き』
井上 美桜



入選結果	氏名	作品名	入選結果	氏名	作品名
最優秀賞	佐々木 結衣	2色の空	佳作	小島 輝哉	ぼくの大好きな浅川
優秀賞	重松 麻陽	朝のおさんぽ	佳作	重松 陽向	のどかな浅川
優秀賞	柳澤 諒	水面に光る緑	佳作	須藤 なな	浅川と鳥 なかよしこよし
日野市長賞	長友 莉里	浅川と生きる	佳作	滝沢 駿斗	浅川から見る市役所
八王子市長賞	井上 美桜	春の輝き	佳作	谷光実咲希	夏の思い出
佳作	相原 宏臣	ごじゅうのとうあさかわいっしょ	佳作	坪内 優太	家族で引っ越し
佳作	大谷 明音	冬の富士山と工事中	佳作	山中萌丹桂	未来を見つめている鳥
佳作	河村 大樹	川を撮る中学生			

※HPに全作品掲載中です。



第11回あさかわ写真コンクール表彰式記念写真

最優秀賞
『キラリ』

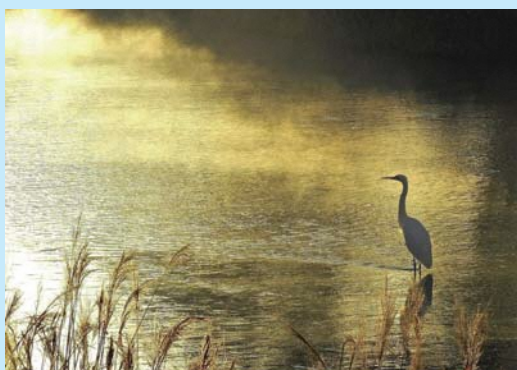
渡邊 敦子

優秀賞
『浅川の朝と虹』

小林 美文

日野市長賞
『何思う』

中原 輝男



第11回あさかわ

あさかわ写真コンクールは、日野市と八王子市の両市を
として捉え、良好な水辺環境と心豊かな浅川流域のまちづ
ている催しです。

今年で11回目を迎えたあさかわ写真コンクールですが、
に対する思いを感じることができました。

そして、令和4年11月5日（土）には、新しくなった
と副賞の授与が行われました。

表彰式では、大坪日野市長、石森八王子市長および協賛
式会社の大屋様、京王電鉄株式会社の二羽様より賞の贈呈

一般の部

優秀賞
『新緑の溪流』

中西 隆

八王子市長賞
『This is [浅川]。』 中川 圭一

入選結果	氏 名	作 品 名	入選結果	氏 名	作 品 名
最優秀賞	渡邊 敦子	キラリ	佳 作	竹内三ツ木	水ぬるむ
優秀賞	小林 美文	浅川の朝と虹	佳 作	徳本 修亮	ダイブ！
優秀賞	中西 隆	新緑の溪流	佳 作	ブラウン・アシュレイ	南浅川ハイキング
日野市長賞	中原 輝男	何思う	佳 作	古屋 博	一生懸命
八王子市長賞	中川 圭一	This is [浅川]。	佳 作	山下 徹	鯉のぼりと南浅川
佳 作	岩松 喜一	冬空にTake off	佳 作	吉野 邦夫	清流でガサガサ探検
佳 作	佐々木陽介	とよだの花火	佳 作	渡邊 英明	朝の虹
佳 作	杉山 信吾	出初式			

日野市環境フェア開催

2022年11月6日、日野市環境フェアを実施しました。約2年ぶりの環境フェアでは、500名を超える方が各ブースを訪れ、多くの方が環境問題について考えるきっかけとなったのだと思います。今年は「気候変動」「地域をつなぐ、未来をつなぐ」をテーマに、温暖化・気候変動を考える機会として開催。市内・近隣企業、近隣大学市内団体など10を超える団体に協力いただき、諸力融合を体现するイベントとなりました。

油污れ・ごみの分別・ポイ捨てや省エネなど市民自らがどのように環境問題に取り組めばよいのかを学ぶ機会としてもらえるようなワークショップやパネル展示を行いました。

メイン会場となるイオンホールでは、環境啓発映画「マイクロプラスチック・ストーリー」の上映や明星大学教授亀井川幸弘先生による基調講演「気

候変動をあなたは知っていますか」、イオン株式会社による環境への取組みなど様々なグループ・企業・大学がどのように環境問題に取り組んでいるか、気候変動問題についてどのように認識しているかを、市として気候変動問題に

どのように取り組んできたかを市民の皆さんにご紹介しました。企業・大学・市それぞれが気候変動問題にどのように取り組んできたかを共有したうえで、お互いにどのよう

な行動を期待するか、どのような連携を期待するかを対談しました。その後、市の危機感を表明するため、「日野市気候非常事態宣言」を发出了。

日野市は、2030年二酸化炭素排出量46%削減、2050年二酸化炭素排出量実質ゼロを目指し、認識の共有・再生可能エネルギー等の積極的な導入・活用の推進・学び考える機会を設けることを実施します。



参加企業一例



パネル展示



ワークショップ





千輪咲き



日野中央公園ステージ上

高幡不動尊の「菊の三重塔」と「千輪咲き」、日野中央公園のステージ上の写真を掲載しましたので、会場に足を運ばなかった方も写真ではありますがお楽しみください。

引き続き新型コロナウイルス感染症が猛威をふるう中ではありましたが、携わる方々の長年の経験による栽培の工夫や土や肥料づくりなど日々ご尽力いただいたお陰で日野中央公園のステージを中心に古典菊、福助やダルマ、人形や亀をかたどった菊など、多くの作品を展示することができました。

高幡不動尊では、多摩地域最大の規模である「菊まつり」が今年度も無事、従来どおりに開催され、たくさんさんの菊花で境内が埋め尽くされました。

市の花 『菊』の祭典

今年度も日野市では10月から11月にかけて、菊花展、菊花コンテストなど、菊にまつわる祭典が開催されました。一昨年度、昨年度に



菊の三重塔



●日だまり公園 (街区公園115)

所在地…程久保8-21-5 / 面積…356㎡ / 開園日…昭和63年10月20日

この公園を含む一帯の土地は、古くから産土神(鎮守)社の境内に続く雑木林で、四季を通して多くの野鳥のさえずりが聞かれた。

地形が東西に口を開くやまふところにあるため、夏は東南風を受けて涼しく、冬は北風や西南から吹き込む谷戸風がさえぎられポカポカと暖かく、日溜のあるこの地での冬の山仕事は作業もはかどった。

●番匠谷戸公園 (街区公園195)

所在地…程久保8-18-27 / 面積…166㎡ / 開園日…平成23年6月30日
このあたりは、番匠



(C) 2017 PASCO CORPORATION.
(C) 2017 INCREMENT P CORPORATION.
いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。

谷戸と呼ばれていました。高幡の不動堂を造る番匠(大工)がいたと伝えられています。また、不動堂の材木は木伐沢(現在の程久保・南平・高幡・三沢の一帯を含む)から切り出したといわれています。

村の面積の8割が山林だった程久保村には、長谷戸(多摩動物公園のあたり)、池が谷戸(程久保5丁目のあたり)など、たくさん谷戸(丘陵)地が長い時間をかけて浸食され形成された谷状の地形)があり、炭焼きがさかんでした。

湧水測定冊子案内

2017年4月、旧環境情報センターはカワセミハウスとなり、黒川清流公園の隣に移転しました。「水と緑のまち」である日野市のなかでも、黒川清流公園は特に湧水と緑が豊富な場所の一つです。カワセミハウスでは、そんな黒川清流公園の豊富な湧水の測定を移転以降、週に1回行い記録してきました。

この度、観測開始から5年が経ったことを受け、2022年3月までの湧水測定の記録をまとめた冊子を発行いたします。実測の記録をもとに、降水量などと関連しながらデータを整理し、考察をしています。(※年度内発行を予定)

執筆・監修…小倉 紀雄
(東京農工大学名誉教授)
発行…カワセミハウス



あずまや池出口水路



流速の測定(流速計による)



水深の測定



日野と名の付く生きもの

生きものの名前には、体形や色、生態などの特徴などの他に、発見した人の名前や地名が付けられたりもします。お隣の八王子市で発見されたハチオウジアザミや高尾山で最初に発見されたタカオスミレ、多摩丘陵に生育するタマノカンアオイなど、多摩地域でも地名に由来した名前が付いた生きものはたくさんいます。では、私たちの「日野」が名前に付いた生きものがいるのはご存じでしょうか？ いるとしても現在生きている生きものではなく、化石で見つかった生きもので、「ヒノクジラ」と呼ばれています（ただ

し、正式な種名ではありません）。

●多摩川で発見

ヒノクジラは1971年に、日野市栄町の多摩川で化石として発見されました。発見されたのは、今から約200万年前に日野市がまだ海だったところに堆積した、平山層という地層です。散歩中の市民の方が、河川敷の粘土層の中に何か大きな塊が埋まっているのを発見し、調査の結果長さ1・5mほどのクジラの頭骨の一部などが発掘されました。



ヒノクジラの化石

●ヒノクジラは何クジラ？

クジラの仲間、ハクジラとヒゲクジラの2種類に大きく分けられます。ハクジラは歯を持つクジラで、他の魚やイカなどを捕食します。マッコウクジラやシャチ、イルカの仲間などが含まれます。一方ヒゲクジラは、歯の代わりにひげ状のものが口に並んでおり、小さなプランクトンなどをこしとって食べます。シロナガスクジラなどが含まれます。ヒノクジラの化石は骨の一部のみで劣化も進んでいたため、発見当初から長らくヒゲクジラの仲間であろうと思われていました。しかし、2017年から行われた詳しい調査により、実はハクジラの仲間であり、その中でもマッコウクジラの仲間の上あごの骨であることが判明しました！

●多摩川や浅川は化石の宝庫

市内の河川敷では、ゾウの



ヒノクジラ発掘時の様子

牙やシカの足跡、貝類や大昔の植物の化石など、現在でも様々な化石を見つけることができます。ヒノクジラもまだ正確な種名までは特定されていません。今後の調査の進展や新たな化石の発見がなされれば、日野市の古代の姿がさらに浮かび上がってくるかもしれません。ヒノクジラや市内で見つかった化石は、日野市郷土資料館で展示されていますので、ぜひご覧になってください。

文 日野の自然を守る会

写真 片山 敦

展示写真は片山、その他は日野市郷土資料館提供

あとかき

昨年、緑と清流課水路清流係に配属され早1年が過ぎました。仕事を1年通して分かってきたところですが、水路の維持管理はもとより、環境月間や各種イベントで用水組合や自治会等様々な方々と協働する機会が多い職場だということでした。

その中でも一番心に残っている業務はホタルの観察会です。毎年6月末に実施され、抽選で選ばれた20名の参加者と一緒に市で管理している緑地に赴き、飛び回るホタルを観察するというものです。暗闇の中、50匹以上のゲンジボタルがフワフワと小さく淡いけど明瞭に光り、幻想的に飛んでいる風景が未だに市内に残っていることに感動しました。

日野市においても都市化の影響で山林、田畑も宅地化され自然もだいぶ少なくなりましたが、まだまだ貴重な自然が残っています。

このホタルが住めるきれいな水環境を次世代へ引き継がれることを願ってやみません。

M・U